

# 新府中市史 中世通史編 総目次

口絵	1
はじめに	1
刊行に寄せて	2
編集にあたって	3
凡例	4
総目次	8
附編 細目次	14
序章	21

## 第1章 院政時代

第1節 院政時代の武蔵国と武蔵府中	30
1 国家によるムラづくりと武蔵国	30
2 給復の論理と寺社興行―藤原長賢と藤原成実の相論が意味するもの―	38
第2節 院近臣と武蔵守	46
1 藤原行実・源顕実・源顕俊―院近臣受領の活躍―	46
2 武蔵守による女院への奉仕と藤原信頼の登場	49
第3節 保元の乱から平治の乱へ	53
1 源氏と東国武士団	53
2 大蔵合戦と武蔵国の情勢	56
3 保元の乱と源義朝	58

## 第4節 平氏政権下の武蔵国と東国

1 知行国主平清盛と「最愛の息子」平知盛	65
2 流人源頼朝と比企尼・比企能員・惟宗忠久	71
第5節 治承・寿永の内乱と武蔵武士	76
1 石橋山の戦いから富士川の合戦へ	76
2 相模国府における行賞から一ノ谷合戦へ	85
3 鎌倉殿による日本国土の掌握と武蔵国	96

## 第2章 鎌倉時代

### 第1節 鎌倉時代の武蔵国務と武蔵国衙

1 知行国主と鎌倉幕府政所	104
2 国務と国守	108
3 国衙・留守所と目代・留守代・在庁官人	124
4 留守所惣検校職	137
5 「守護」と「守護代」	144

### 第2節 鎌倉幕府権力と武蔵国・武蔵府中

1 「近国」と「近境」武蔵・相模	148
2 経済基盤	157
3 軍事基盤	160

### 第3節 幕府政治の展開と府中ゆかりの武蔵武士

1 武蔵国の政治変動と武士の移住・分流	166
2 北武蔵から南武蔵へ―猿渡・人見・津戸・高麗	171
3 武蔵武士から薩摩武士へ―猿渡・畠田・本田・酒匂	184
4 武蔵武士の人的ネットワーク―猿渡・島津・比企・畠山	194

第3章 南北朝・室町時代

第1節 南北朝内乱と武蔵府中

- 1 建武政権と武蔵国……………200
- 2 南北朝内乱と武蔵国……………206
- 3 南北朝内乱期の武蔵守護・守護代……………212
- 4 足利政権の内訌と武蔵国・守護……………219

第2節 鎌倉府権力の展開と武蔵国

- 1 武蔵野合戦……………226
- 2 東国の諸内乱と府中……………230
- 3 鎌倉府成立後の武蔵守護・守護代……………237

第3節 室町時代の府中と武蔵守護

- 1 鶴岡八幡宮の社領経営と府中……………246
- 2 応永期の東国争乱と府中……………250
- 3 室町時代前期の武蔵守護・守護代……………258

第4節 動乱の時代へ

- 1 永享の乱・結城合戦から江ノ島合戦へ……………264
- 2 享徳の乱と東国社会……………271
- 3 室町時代の府中と守護所……………280
- 4 室町時代後期の武蔵守護・守護代……………287

第4章 中世都市「府中」とその周辺

第1節 古代から中世へ

- 1 古代国府の終焉……………298
- 2 中世府中へ……………299

第2節 中世府中の空間

- 1 中世府中の広がりと道路網……………301
- 2 発掘された中世府中……………304
- 3 府中の空間構造……………318
- 4 府中の周辺……………326

第3節 中世府中の人々と暮らし

- 1 府中をめぐる人々……………333
- 2 府中びとの暮らし……………339

第4節 中世から近世へ

- 1 戦国の府中……………346
- 2 中世の終幕、近世の幕開け……………350

第5章 戦国時代

第1節 大石氏から小田原北条氏へ

- 1 両上杉氏の抗争と大石定重……………358
- 2 小田原北条氏と大石道俊……………363
- 3 北条氏照の登場……………368

第2節 北条領国下の惣社六所宮

- 1 北条領国のなかの府中……………376
- 2 戦乱のなかの府中……………384

第3節 ある戦国武士の家族史―由木一族が歩んだ歴史―

- 1 大悲願寺に残された過去帳……………395
- 2 由木一族の戦国史……………396
- 3 由木氏と源誉・海誉……………402

第4節 地域社会の成熟

1 六所宮による国内神社の統率……………405

2 地域社会の自立……………410

3 検地帳からみる中世……………417

第6章 武蔵府中の寺社と信仰

第1節 武蔵国惣社六所宮

1 六所宮の信仰と伝承……………422

2 中世前期の六所宮……………426

3 中世後期の六所宮……………430

第2節 高安寺と鎌倉府・鎌倉公方

1 『新編武蔵風土記稿』にみえる高安寺……………435

2 鎌倉府の拠点・高安寺……………438

3 高安寺の曹洞宗改宗について……………444

第3節 天台宗談義所・定光寺

1 幻の平安寺院・定光寺……………448

2 談義所定光寺の活動と衰退……………450

3 安養寺の狸聖教と等海……………454

4 中世伝承を持つ寺院と廃絶した中世寺院……………456

第4節 板碑にみる信仰

1 板碑とは何か……………462

2 板碑造立の諸相……………464

第5節 『私案抄』にみる塔婆の造立

1 『私案抄』と塔婆……………475

2 『私案抄』にみる「卒都婆」造立の実態……………476

附編

第1節 編年史料補遺……………480

第2節 猿渡氏関係史料補遺……………506

第3節 津戸氏関係史料補遺……………519

第4節 総社文庫本『武蔵七党系図』……………521

図版一覧……………622

附編 所収史料典拠一覧……………628

参考文献一覧……………629

執筆分担・担当部会……………646

資料提供及び調査協力……………647

市史編さん関係者名簿（令和5年度）……………648

あとがき……………649